

静岡県立東部特別支援学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月23日(水)

土器の分類をして、当時の人々の生活を想像しました。

◎土器の分類体験

静岡県立東部特別支援学校中学部を訪問しました。縄文時代や弥生時代の土器の分類体験を通して、その時代の人々の生活を想像することを狙いとした授業でした。

土器の作り方や土器の特徴について、詳しく説明を聞きました。ジュラルミンケースから出たきた完成土器を見て驚いていました。実際に土器に触れて、土器の厚さ、模様、重さ、質感などの違いを感じ取り、縄文・弥生・古墳時代の土器の違いを捉えることができました。



その後、土器片を手に取り、縄文土器、弥生土器、須恵器の分類を始めました。実際に手に取り、本物の重さや質感、模様などをよく観察し、微妙な土器の特徴の違いを捉えながら分類していました。

普段、本物を触る機会がないので、とても喜んでいました。また、家庭に帰っても、土器の分類体験のことをたくさん話したそうです。

今後は、土器を作る体験をしてみたいようでした。

